

# るもい次世代育成

## 支援行動計画

健やかに子どもを産み育てる環境づくりを目指します。



### 計画の概要

市は平成17年度、次の世代を担うすべての子どもたちとその保護者が、地域に心から祝福され、支えあいながら喜びや楽しみを持って育つことができるよう、「地域とともに 健やかに 子どもと親が そだつまち」を基本理念に「るもい次世代育成支援行動計画（前期計画）」を策定しました。

この計画は、地域で子どもたちと保護者を支援し、安心して子どもを産み育てることができ環境を作ることを目的としています。

計画期間は、17年度から26年

### 計画の目標

度までの10年間で、17年度から21年度までの5年間で前期、22年度から26年度までを後期としています。

この計画は、基本理念を実現するため、

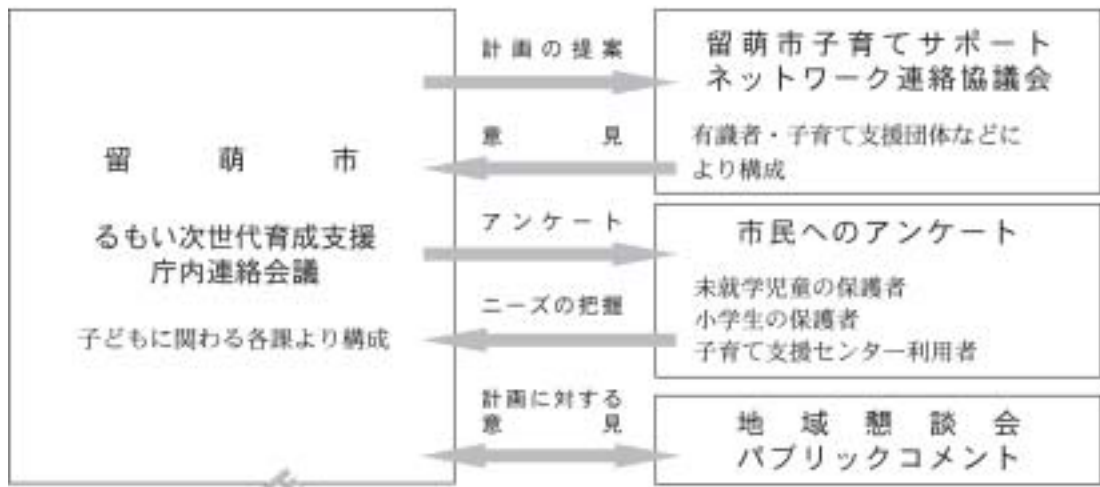
- ①子どもの視点
- ②すべての子育て家庭への支援の視点
- ③保護者の視点
- ④社会全体による視点

の4つの基本的な視点を踏まえ、下記の7つの項目を「るもい次世代育成支援行動計画における目標」として、総合的な施策を推進しています。

るもい次世代育成支援行動計画における目標	
1	地域における子育て支援の推進
2	母子保健の推進
3	子どもの教育環境の整備
4	子育てを支援する生活環境の整備
5	仕事と子育ての両立支援
6	子どもの権利・安全の確保
7	支援を必要とする子どもへの取り組みの推進



### るもい次世代育成支援行動計画(後期)の策定体制



### 次世代育成支援行動計画策定

#### 前期計画で実施した事業

前期計画では、主に家庭で子育てをしている親子を対象に育児相談などを通じて、育児を支援する「子育て支援センター事業」、一時的な子どもの預かりなどを行う「ファミリーサポートセンター事業」、乳幼児の発育発達について支援する「乳幼児健康診査」、不登校対策などを目的とし、学校への「スクールカウンセラーなどの配置」、就労などにより、昼間保護者がいない家庭の児童を受け入れる「放課後児童健全育成事業」などの事業を実施し、子どもたちの健やかな成長や生活環境の向上を目指しました。



#### 後期計画の策定について

前期計画では、次世代育成支援対策の総合的で計画的な取り組みを推進するため、全庁協働体制のもと「るもい次世代育成支援庁内連絡会議」を設置し、計画の策定を進めました。また、「留萌市子育てサポートネットワーク連絡協議会」において、子育てに関する有識者から意見をいただき、計画に反映させました。

#### 後期計画で実施する事業

後期計画は、前期計画を策定した17年度と比べ、少子高齢化による家族構成の変化、景気の低迷など、社会情勢が大きく変わっていることなど状況の変化を念頭に置いて策定しました。

総事業数は70事業で、その内訳は継続が60事業、新規が10事業となっています。

新規事業の中で最も重要な事業が、平成24年度に実施予定の「乳幼児全戸訪問事業」です。

生後4カ月を迎えるまでの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、保護者の心身の状況及び養育環境を把握し、子育てに関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に適切なサービスを結びつけ、子どもたちが健やかに育つことのできる環境整備を市・保健医療課と連携していきます。

お問い合わせ先は  
市・児童家庭課  
☎42・1808